

第2回熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策 実行計画策定に関する意見聴取委員会

計画策定の手順

2019年10月7日

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画
事務局

1. 計画の全体像

目指す姿

水、森、大地とともに生きる持続可能なくまもと脱炭素循環共生圏の実現

1. 各市町村の住民、事業者、行政が脱炭素社会に向けて主体的に行動している都市圏
2. 脱炭素化を推進する機能が社会システムに組み込まれている都市圏
3. 各市町村の再生可能エネルギーが圏域全体で活かされている都市圏
4. 温室効果ガス排出抑制と災害に対するレジリエンスが両立している都市圏
5. 脱炭素化を通じて圏域住民の生活が豊かになっていく都市圏

エネルギービジョン

エネルギー源の環境性、エネルギー活用の効率性、エネルギー供給の信頼性が確保された「くまもと脱炭素循環共生圏エネルギーシステム」の構築

基本方針

1. 圏域の住民、事業者、行政の各々の立場による省エネ・創エネ・蓄エネ施策推進
 2. 脱炭素化した都市圏に必要な都市機能、生活関連機能、産業機能を圏域として協力して整備
 3. 圏域での再生可能エネルギー利用の最大化とエネルギーの運用・管理
 4. 圏域の各市町村による独自の「脱炭素×災害対策」の実践及び圏域での連携
 5. 環境投資による圏域経済の持続的成長の達成とクオリティ・オブ・ライフの向上
1. クリーンエネルギーの創出
 2. 効率的なエネルギー利用
 3. エネルギーセキュリティの向上

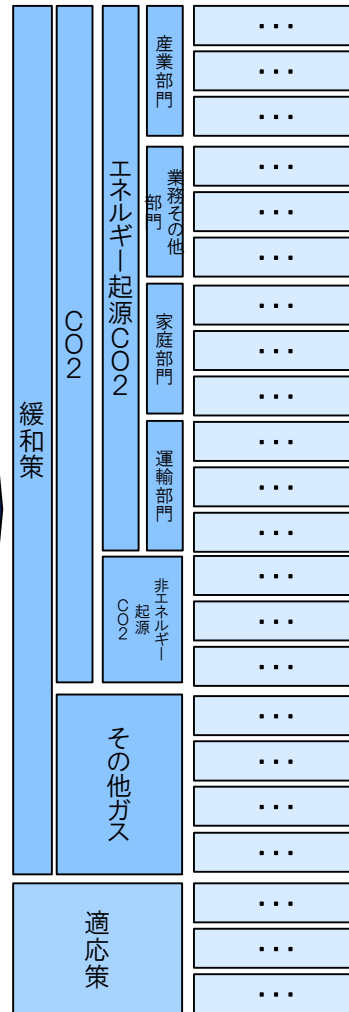
目標

中期目標
(2030年度):
温室効果ガス
26%以上の削減

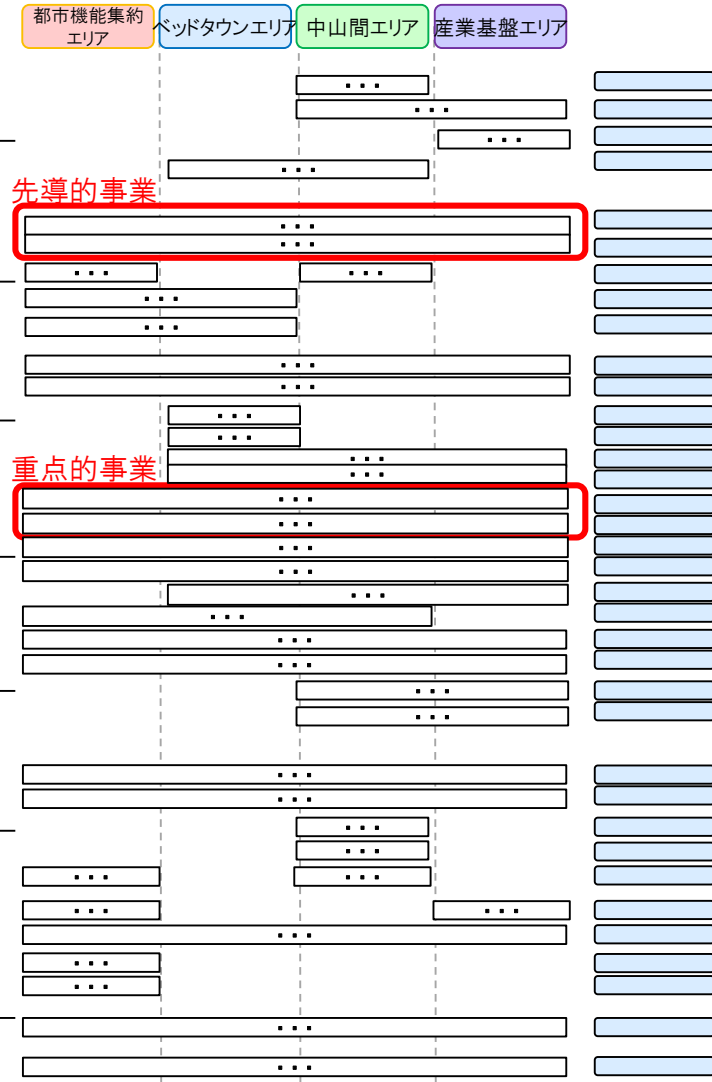
長期目標
(2050年度):
温室効果ガス
80%削減

(基準年度:
2013年度)

施策



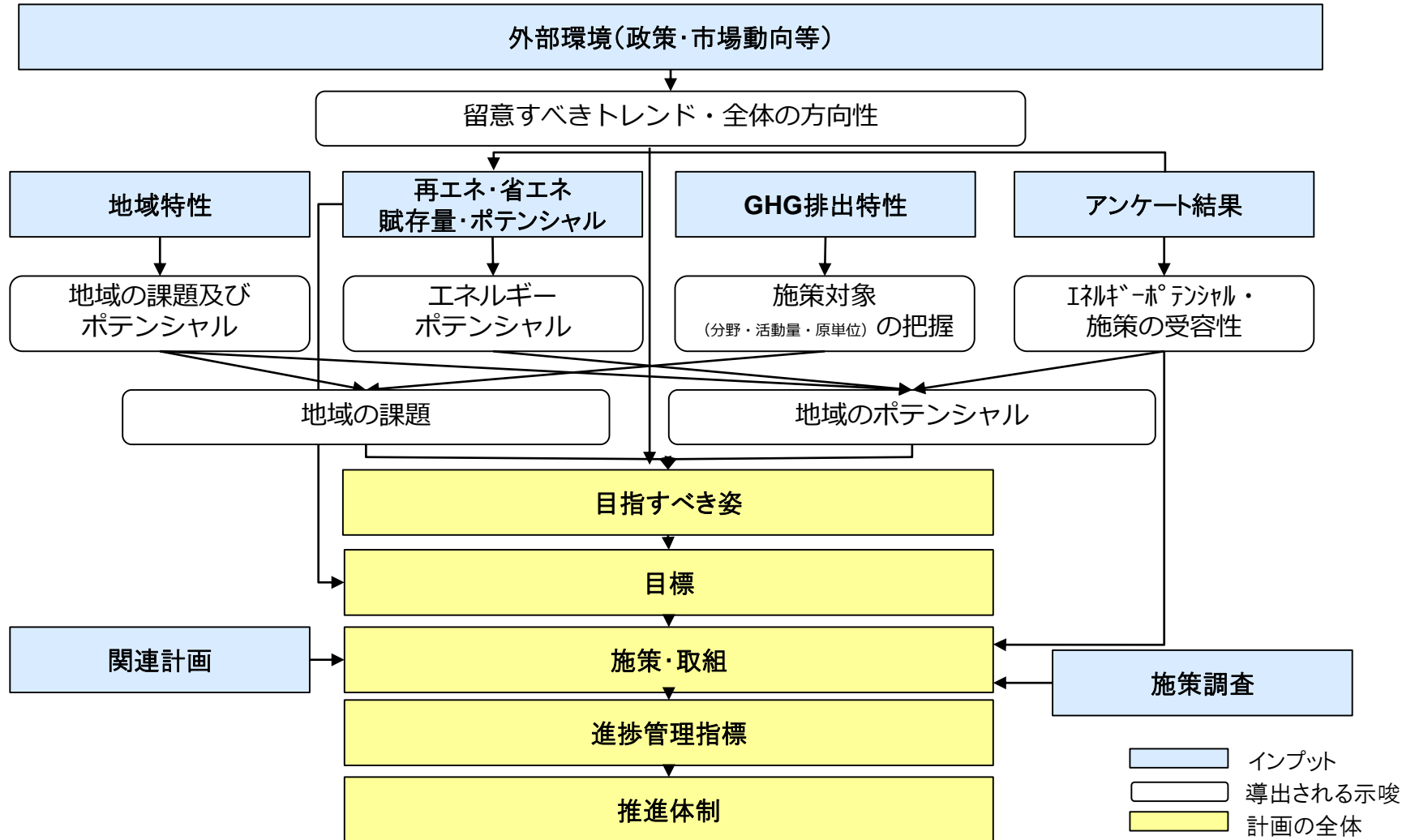
取組



指標

2-1. 計画策定の手順

- 政策動向や地域特性、再エネ・省エネポテンシャル、GHG排出特性、アンケート結果を踏まえて、圏域で目指すべき姿を導出。
- 目指す姿の実現に向けて、アンケート等の結果を参考に、既存施策の整理、新規で取り組むべき施策抽出を実施。



2-3. 施策・取組（案）の類型化・立案

- 施策は、「施策の重要度」と「施策の推進度」により、国の地球温暖化対策実行計画の施策リストを評価(4分類)して抽出。
- 13市町村の施策への取組意向や既存取組施策の具体内容を踏まえ、かつ適切な施策名に改訂したうえで、新・施策体系/施策・取組(案)を立案する。

